

第 33 回堺市新型コロナウイルス対策本部会議議事要旨

日 時：令和 3 年 11 月 26 日（金） 午後 1 時～午後 1 時 40 分

場 所：堺市役所本館 3 階 大会議室

- 議 題：1. 本市の新型コロナウイルス感染症患者の状況等について
2. 大阪府の要請内容等について
3. 大阪府の対応を踏まえた今後の本市の対応について
4. 本市のワクチン接種の状況について
5. 第 6 波に向けた 8 つの取組の準備状況について
6. その他

【開会にあたり市長より】

- ・市内の新規陽性者は現在も落ち着いている状況。
- ・市民の皆様、事業者の皆様の強い感染対策への意識と行動のおかげと感謝している。
- ・一方で海外ではワクチン接種率が高い国々でも感染が急拡大していることや、南アフリカで新たな変異株が発生したという報道もあり、日本も決して他人ごとではない。
- ・昨年は 12 月下旬の影響が 1 月上旬の感染急拡大に現れたと考えている。今年も警戒する必要がある。
- ・市民の皆様、事業者の皆様には、年末を迎えるにあたって引き続き基本的な感染対策の継続を呼びかけるとともに、市としてもいつ感染が再拡大しても対応できるように臨む。
- ・本日は特に年末に向けての市の対応方針と、感染拡大に備えた体制について協議したい。

【議題説明及び質疑】

1. 本市の新型コロナウイルス感染症患者の状況等について (健康福祉局長)

(※資料 1 参照)

(教育監)

- ・学校園における感染状況は 10 月以降低位で推移しており、学級閉鎖等の措置も行っていない。教員についても 1 か月以上、陽性者は発生していない。

2. 大阪府の要請内容等について (危機管理監)

(※資料 2 参照)

- ・感染防止安全計画を策定する必要がないイベントについては、府が定める様式に基づく感染対策等を記載したチェックリストを作成し、HP 等への公表が必要となる。
- ・チェックリストの対象となるイベントの定義等については、大阪府へ詳細を示すよう要望しているため、分かり次第、お知らせする。
- ・イベントの実施に際しての要請内容について、各局・各区内で周知徹底のうえ、関係団体への周知も願います。

3. 大阪府の対応を踏まえた今後の本市の対応について (危機管理監)

(※資料 3 参照)

- ・安心して年末年始を過ごすために特に注意することとして、帰省、旅行、外食は「少人数」

「分散」「短時間」を意識すること、部屋の換気と加湿を心がけることを周知啓発する。

(総務局長)

- ・職員間の夜の会食は引き続き、4人以下、マスク会食、2時間以内、感染防止認証ゴールドステッカー取得店舗の利用を徹底。
- ・テレワーク、時差出勤等による職員の接触低減の取組の11月12日時点での実施状況は、出勤削減が21.9%、時差出勤が23.9%となっている。引き続き対応をお願いする。

4. 本市のワクチン接種の状況について (健康福祉局理事)

(※資料4参照)

- ・3回目の接種について、国から示されたワクチン配分計画では26万人に対して半分がモデルナ社製となっており、1、2回目ファイザー社製の方にもモデルナ社製を勧めることになる。
- ・全国知事会や関西広域連合からも国に緊急提言を行っているところであるが、本市としても、実態を踏まえた上で大阪府と連携して要望を行っていききたい。

(市長)

- ・3回目接種は12月1日からまずは医療従事者への接種を開始するが、国の情報はまだ不透明な部分が多い。特にこれまでファイザー社製を接種された方にも3回目接種ではモデルナ社製を勧めることになる可能性がある。
- ・このことは大きな混乱が生じる恐れがあり、おそらく全国的にも問題になるものと認識している。
- ・常に最新の情報を得られるように努め、大阪府とも連携しながら対応する。
- ・不安を感じる方からの問合せも想定されるので、区役所などの窓口や市民の皆様と接する機会が多い職員は丁寧な対応を心掛けるように。

5. 第6波に向けた8つの取組の準備状況について (健康福祉局長)

(※資料5参照)

【閉会にあたり市長より】

- ・今回の本部会議では12月の本市の対応方針について協議した。
- ・12月は忘年会やクリスマスなど特別な機会が多く、気が緩みやすい時季。
- ・職員は市民に呼びかける行動の模範とならなくてはならない。組織として感染対策が緩むことがないように、本部員はもちろん、部下にも意識の徹底を。
- ・これからワクチン3回目接種に加え、国からの様々な給付金への対応や、感染再拡大にも備えなくてはならない。市職員全員が一丸となり、乗り切っていきたい。